

津市敬和公民館拡声設備改修工事

図名リスト	
E-01	電気設備工事特記仕様書（1）
E-02	電気設備工事特記仕様書（2）
E-03	電気設備工事特記仕様書（3）
E-04	附近見取図、配置図
E-05	拡声設備 機器姿図、系統図、計算書
E-06	拡声設備 1階平面図
E-07	拡声設備 2階平面図
E-08	拡声設備 3階平面図
E-09	事務室廻り改修 平面詳細図
E-10	自動火災報知・コンネット設備改修 平面図

<p>19. ボルト・ナット類 屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの ●ステンレス ・溶融亜鉛メッキ仕上げ</p> <p>20. ケーブル及び配線 (1)表示 下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札(ケーブル種別及びサイズ、行き先、施工年、用途、施工者名等を表示。)を取り付ける。 ① ケーブルがスラブを貫通する部分 ② ケーブル分岐部分 ③ 変電所内のケーブル引出し部分 ④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分 ⑤ 屋内の直線部分は、3.0mごと ⑥ プルボックス内 ⑦ 屋外の共同溝等の直線部分は、5.0mごと ⑧ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分 ⑨ マンホール及びハンドホールごと (2)ケーブル余長 1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ ()箇所 2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ ()箇所</p> <p>21. 配線器具の設置 (1)特殊コンセントはプラグ付とする。 (2)電源の種類により色を区別する。 (3)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (4)プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。 (5)カバープレートは、原則として新金属製とする。 なお、器具を実装しない位置ボックスには用途表示をすること。 (6)フロアプレートは、水平高低調整型(空転防止リング付)とする。</p> <p>22. 照明器具の設置 (1)照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A A級とする。 (2)天井下地材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。 (3)パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。</p> <p>23. 照明改修の際の測定 対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所 (2箇所) 測定回数 前後各(1)回</p> <p>24. 分電盤、制御盤、キュービクル等 図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。</p> <p>25. 受変電設備、発電設備の設置場所 (1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2)屋内に設置する場合は、床の強度計算書、換気計算書等を監督員に提出する。 (3)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (4)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。</p> <p>26. 発電設備の燃料配管 (1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。</p> <p>27. 非常放送設備のスピーカ設置 (1)放送区域の各部からスピーカまでの水平距離は1.0m以内とする。 (2)階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離1.5m以内とする。</p> <p>28. 土工事 (1)埋戻しの材料及び工法 ・ B種 (材料:根切り土中の良質土 / 工法:機器による締固め) ・ その他 () ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2)特記なき地中埋設配管の深さは、GL-600mm以上とする。 (3)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。 (4)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。</p> <p>29. ハンドホール、マンホール 高さ900mmを超えるものあつては、タラップ付とする。 なお、タラップの取付は450mm間隔以内とする。</p> <p>30. 地中配線路の表示杭 下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び送出口付近 ② マンホール・ハンドホール付近 ③ 地中線路の曲折箇所 ④ 道路横断箇所 ⑤ 直線部分では3.0m程度に1個(3.0mに満たない部分はその間に1個)</p>	<p>3. 機器仕様 下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。 なお、詳細については図面による。</p> <p>【電力設備】</p> <p>1. 電灯設備 (1)既設等との取り合い (2)機器類 (3)一般照明器具 (4)照明制御器 (5)外灯(単独設置)</p> <p>2. 動力設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)負荷設備 (4)負荷設備への接続 (5)電動機等の接地 (6)分電盤、制御盤等</p> <p>3. 雷保護設備 (1)避雷針 (2)雷サージ保護 (3)電源回路保護 (4)通信回線保護 (5)接地設備 (1)接地工事 (2)接地抵抗測定 (3)接地極埋設標</p> <p>1) 電灯設備 (1)既設等との取り合い (2)機器類 (3)一般照明器具 (4)照明制御器 (5)外灯(単独設置)</p> <p>1) 表示 下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札(ケーブル種別及びサイズ、行き先、施工年、用途、施工者名等を表示。)を取り付ける。 ① ケーブルがスラブを貫通する部分 ② ケーブル分岐部分 ③ 変電所内のケーブル引出し部分 ④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分 ⑤ 屋内の直線部分は、3.0mごと ⑥ プルボックス内 ⑦ 屋外の共同溝等の直線部分は、5.0mごと ⑧ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分 ⑨ マンホール及びハンドホールごと (2)ケーブル余長 1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ ()箇所 2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ ()箇所</p> <p>1) 特殊コンセントはプラグ付とする。 (2)電源の種類により色を区別する。 (3)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (4)プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。 (5)カバープレートは、原則として新金属製とする。 なお、器具を実装しない位置ボックスには用途表示をすること。 (6)フロアプレートは、水平高低調整型(空転防止リング付)とする。</p> <p>1) 照度測定を行う。照度計は一般形A A級とする。 (2)天井下地材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。 (3)パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。</p> <p>1) 対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所 (2箇所) 測定回数 前後各(1)回</p> <p>1) 図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。</p> <p>1) 保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2)屋内に設置する場合は、床の強度計算書、換気計算書等を監督員に提出する。 (3)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (4)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。</p> <p>1) フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。</p> <p>1) 放送区域の各部からスピーカまでの水平距離は1.0m以内とする。 (2)階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離1.5m以内とする。</p> <p>1) 埋戻しの材料及び工法 ・ B種 (材料:根切り土中の良質土 / 工法:機器による締固め) ・ その他 () ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2)特記なき地中埋設配管の深さは、GL-600mm以上とする。 (3)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。 (4)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。</p> <p>1) 高さ900mmを超えるものあつては、タラップ付とする。 なお、タラップの取付は450mm間隔以内とする。</p> <p>1) 下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び送出口付近 ② マンホール・ハンドホール付近 ③ 地中線路の曲折箇所 ④ 道路横断箇所 ⑤ 直線部分では3.0m程度に1個(3.0mに満たない部分はその間に1個)</p>	<p>【受変電設備】</p> <p>5. 受変電設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)盤類 (4)交流遮断器 (5)断路器 (6)負荷開閉器 (7)変圧器 (8)進相コンデンサ (9)直列リアクトル(進相コイル用) (10)キュービクル等 (11)基礎 (12)配線ビット及び蓋 (13)設置場所 【電力貯蔵設備】</p> <p>6. 直流電源設備 (1)用途 (2)容量 (3)整流装置 (4)蓄電池 (5)性能 (6)蓄電池 (7)交流無停電電源設備 (1)用途 (2)容量 (3)給電方式 (4)整流装置等 (5)蓄電池 (6)性能 (7)電力準化用蓄電設備 (8)分散電源エネルギーマネジメントシステム</p> <p>高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。 ・無し ・改造(機器取替、追加等を含む) ・増設 ・配線接続 ・その他 () ・盤類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器 ・進相コンデンサ ・直列リアクトル ・配線用遮断器 ・電磁接触器 ・その他 () 1) 形式 ・キュービクル式配電盤(JIS C 4620) ・高圧スイッチギア(JEM 1425)(・GX ・CW ・PW ・MW) ・開放形配電盤 ・その他 () 2) 中通路 ・有 ・無 3) 特記事項 () 真空遮断器(VCB) ①操作方式 ・手動ばね操作 ・電動ばね操作 ・電磁操作 ②引外し方式 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直流電圧引外し 1) 形式 ・3極単投 ・単極単投(避雷器用に限定) 2) 操作方式 ・遠方手動操作 ・フック棒操作(避雷器用に限定) 1) 形式 ・配電盤用 ・引込柱用 ・地中引込用 2) 配電盤用 ①操作方式 ・フック棒操作 ・遠方手動操作 ・電動操作 ②限流ヒューズ ・有(ストライカ付き) ・無 ③引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し ・無 ①本体及び制御箱の材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ②保護装置 過電流蓄勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③避雷器 ・内蔵 ・無 4) 地中引込用 保護装置は、過電流蓄勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする 1) 形式 ・油入 ・モールド 2) 設置方式 ・屋外型 ・屋内型 3) ダイアル温度計 ・有(・最大値指針 有 ・最大値指針 無) ・無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合は必須とする 1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド ・ガス入 2) その他 ①内部異常を検知して動作する保護接点を設けること ②放電装置を附属又は内蔵すること 1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド 2) 容量 ・6% ・13% 3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 (2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付できない場合を除く。)とする。 (3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 (4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 (5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 (6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工制御盤等年月、受注者名、施工者名を記載する。 (2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付できない場合を除く。)とする。 (3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 (4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 (5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 (6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 (7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。</p> <p>1) 受雷部 ・突針 ・棟上導体 ・笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ・引下げ導線 ・建築構造体利用 3) 接地極 ・接地極埋設 ・建築構造体利用 ・測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ①測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 ②測定回数 ・3回 ・()回 5) 接地極埋設標を設置する。</p> <p>1) 耐雷トランス ・設置(・単相用 ・動力用) ・設置しない 2) SPD ・低圧用(・クラスⅠ ・クラスⅡ) ・通信用(・カテゴリC2 ・カテゴリD1) 3) SPDの性能仕様は別図による 1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 (2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kVA以上とする。 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。</p> <p>1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 2) 施工 ・各種単独 ・共用有り() 1) 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 2) 測定回数 ・3回 ・()回 接地には接地極埋設標を施工し、接地極の位置がわかるようにする。</p>	<p>【発電設備】</p> <p>10. 燃料式発電設備 (1)用途 (2)設置場所 (3)機器 (4)発電装置 (5)発電機 ①電気方式 ②定格周波数 ③定格出力 6) 原動機 ①定格出力 ②冷却方式 (5)燃料 (6)燃料槽 2) 燃料小出槽 3) 主燃料槽 ①設置場所 ②形式 ③設置工事 ④タンク室工事 1) 材質 2) 油量指示計 1) 電動ポンプ 2) 手動ポンプ 3) 電動ポンプ水没防止カバー (9)基礎 11. その他発電設備 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 (3)電話機 (4)端子盤類 (5)アウトレット 14. 情報表示設備 (1)設備 (2)マテリアル装置 (3)出退表示装置 (4)時刻表示装置 (5)警報等表示装置 15. 映像音響設備</p> <p>1) 用途 ・防災電源専用(防災認定品) ・防災電源兼用(防災認定品) ・一般用 2) 区分 ・屋内 ・常用 ・非常用 ・屋外(・普通地域 ・塩害地域) (2)設置場所 (3)機器 (4)発電装置 1) 種類 ・ディーゼル発電装置 ・ガスエンジン発電装置 ・ガスタービン発電装置 2) 形式 ・簡易形 ・オープン式 ・キュービクル式(・85dB(A)/1m ・75dB(A)/1m) 3) 始動時間(停電検出後) ・1.0秒以内 ・4.0秒以内 ・()秒以内 4) 連続運転時間 ・2時間以上 ・1.0時間以上 ・2.4時間以上 ・7.2時間以上 ・その他() 5) 発電機 ①電気方式 ・三相3線式(・6.6kV ・200V ・()V) ・単相3線式(200/100V) ・単相2線式(200V ・100V ・()V) ②定格周波数 ③定格出力 ()kVA 6) 原動機 ①定格出力 ()kW以上 ・()ps以上 ②冷却方式 ・ラジエータ方式 ・その他() 1) 種類 ・軽油 ・灯油 ・A重油 ・その他() 2) 引渡時燃料 ・満タン ・指定なし ・その他() (6)燃料槽 1) 形式及び容量 ・パッケージ搭載タンク()リットル ・燃料小出槽()リットル ・主燃料槽()リットル ・屋外型(・ステンレス製 ・鋼製) ・屋内型(・ステンレス製 ・鋼製) 2) 燃料小出槽 3) 主燃料槽 ①設置場所 ・屋内型 ・屋外(地上) ・地下埋設(・タンク室内埋設 ・直埋設) ・二重殻タンク ・一重殻タンク ②形式 ③設置工事 ④タンク室工事 1) 材質 2) 油量指示計 1) 電動ポンプ 2) 手動ポンプ 3) 電動ポンプ水没防止カバー (9)基礎 1) 施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他() 2) ビット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと。 ・屋内 ・屋外(・地上 ・屋上) ・非常用照明器具電源 ・受変電設備制御電源 ・その他() ()kVA (2)容量 (3)整流装置 (4)蓄電池 1) 種類 ・鉛蓄電池(・HS ・MSE ・長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池(・AH ・AMH) ・その他() 2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・()℃ 7. 交流無停電電源設備 (1)用途 (2)容量 (3)給電方式 (4)整流装置等 (5)蓄電池 (6)性能 (7)電力準化用蓄電設備 (8)分散電源エネルギーマネジメントシステム ・出力電圧 直流(・1.2V ・2.4V ・4.8V ・()V) 2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。 1) 種類 ・鉛蓄電池(・HS ・MSE ・長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池(・AH ・AMH) ・その他() 2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・()℃ 停電補償時間 () ・常時インバータ給電方式 ・ラインインタラクティブ方式 ・常時商用給電方式 ・その他() 整流装置、インバーター装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。 1) 種類 ・鉛蓄電池(・HS ・MSE ・長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池(・AH ・AMH) ・その他() 2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・()℃ 停電補償時間 () ・仕様詳細は別図による。 ・仕様詳細は別図による。</p> <p>1) 用途 ・防災電源専用(防災認定品) ・防災電源兼用(防災認定品) ・一般用 2) 区分 ・屋内 ・常用 ・非常用 ・屋外(・普通地域 ・塩害地域) (2)設置場所 (3)機器 (4)発電装置 1) 種類 ・ディーゼル発電装置 ・ガスエンジン発電装置 ・ガスタービン発電装置 2) 形式 ・簡易形 ・オープン式 ・キュービクル式(・85dB(A)/1m ・75dB(A)/1m) 3) 始動時間(停電検出後) ・1.0秒以内 ・4.0秒以内 ・()秒以内 4) 連続運転時間 ・2時間以上 ・1.0時間以上 ・2.4時間以上 ・7.2時間以上 ・その他() 5) 発電機 ①電気方式 ・三相3線式(・6.6kV ・200V ・()V) ・単相3線式(200/100V) ・単相2線式(200V ・100V ・()V) ②定格周波数 ③定格出力 ()kVA 6) 原動機 ①定格出力 ()kW以上 ・()ps以上 ②冷却方式 ・ラジエータ方式 ・その他() 1) 種類 ・軽油 ・灯油 ・A重油 ・その他() 2) 引渡時燃料 ・満タン ・指定なし ・その他() (6)燃料槽 1) 形式及び容量 ・パッケージ搭載タンク()リットル ・燃料小出槽()リットル ・主燃料槽()リットル ・屋外型(・ステンレス製 ・鋼製) ・屋内型(・ステンレス製 ・鋼製) 2) 燃料小出槽 3) 主燃料槽 ①設置場所 ・屋内型 ・屋外(地上) ・地下埋設(・タンク室内埋設 ・直埋設) ・二重殻タンク ・一重殻タンク ②形式 ③設置工事 ④タンク室工事 1) 材質 2) 油量指示計 1) 電動ポンプ 2) 手動ポンプ 3) 電動ポンプ水没防止カバー (9)基礎 1) 施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他() 2) ビット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと。 ・屋内 ・屋外(・地上 ・屋上) ・非常用照明器具電源 ・受変電設備制御電源 ・その他() ()kVA (2)容量 (3)整流装置 (4)蓄電池 1) 種類 ・鉛蓄電池(・HS ・MSE ・長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池(・AH ・AMH) ・その他() 2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・()℃ 7. 交流無停電電源設備 (1)用途 (2)容量 (3)給電方式 (4)整流装置等 (5)蓄電池 (6)性能 (7)電力準化用蓄電設備 (8)分散電源エネルギーマネジメントシステム ・出力電圧 直流(・1.2V ・2.4V ・4.8V ・()V) 2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。 1) 種類 ・鉛蓄電池(・HS ・MSE ・長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池(・AH ・AMH) ・その他() 2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・()℃ 停電補償時間 () ・常時インバータ給電方式 ・ラインインタラクティブ方式 ・常時商用給電方式 ・その他() 整流装置、インバーター装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。 1) 種類 ・鉛蓄電池(・HS ・MSE ・長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池(・AH ・AMH) ・その他() 2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・()℃ 停電補償時間 () ・仕様詳細は別図による。 ・仕様詳細は別図による。</p> <p>1) 設備 仕様詳細は別図による。 (2)マテリアル装置 仕様詳細は別図による。 (3)出退表示装置 仕様詳細は別図による。 (4)時刻表示装置 仕様詳細は別図による。 (5)警報等表示装置 1) 機器 ・表示盤 ・検出装置 ・その他() 2) 表示盤 ①表示方式 ・表示窓式 ・その他() ②施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他() 3) 検出装置 ①検出方式 ・電極 ・無電圧接点 ・その他() ②施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他() 4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。 ・仕様詳細は別図による。</p>
--	--	--	--

■memo

■check
client
architect
contractor

■scale
S=N0

■drawing title

電気設備工事特記仕様書(2)

■project title

津市敬和公民館拡声設備改修工事



一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴臣設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

E-02

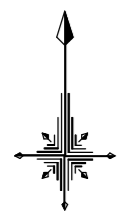
原図: A2

16. 拡声設備	●増幅器 ・付属機器 ・操作装置 ●スピーカ ・その他 () ・非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照) ・専用 出力 () W 出カインピーダンス ・Lo形 ・Hi形
(1)機器	・オーディオミキサー ・リモコンマイク ・電源制御器
(2)増幅器	・録音再生装置 (・CD ・メモリアーディオ ・その他 ()) ・アナウンスレコーダ (・チャイム ・独自メッセージ ・プログラムタイマ ・その他 ())
(3)付属機器	・有線マイクロホン ・無線マイクロホン (・電波式 (・アナログ ・デジタル) ・赤外線式) ・ラジオチューナー (・FM ・AM ・その他 ()) ・スピーカー切替装置 ・その他の機器 ()
(4)操作装置	・卓型 ・キャビネットラック型 ・壁掛型 ・その他 ()
(5)スピーカ	●非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照) ・専用 結線 ・1W ・3W ・() W インピーダンス ・Lo形 ・Hi形 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他 ()
17. 誘導支援設備	・音声誘導装置 ・インターホン ・トイレ等呼出装置
(1)設備	1) 検出方式 ・磁気式 ・無線式 ・画像認識式 ・その他 ()
(2)音声誘導装置	2) 設置場所 ・屋外 (防雨形) ・屋内
(3)機能	3) 機能 ・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する ・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする ・その他 ()
(4)機器	4) 機器 ・制御装置 ・送信機 ・受信機 ・その他 ()
(5)制御装置	5) 制御装置 ・壁掛型 ・卓上形 ・複合盤組込 ・その他 ()
(6)送信機	6) 送信機 ・壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他 ()
(7)受信機	7) 受信機 ・スピーカ式 ・イヤホン式 ・その他 ()
(3)インターホン	1) 用途 ・内部受付用 ・外部受付用 ・夜間訪問用 ・身体障害者用 ・保守用 ・その他 ()
(4)トイレ等呼出装置	2) 機能 ・音声通話 ・映像モニタ 3) 通話網 ・親子式 ・相互式 ・複合式 4) 通話方式 ・同時通話式 ・交互通話式 ・その他 () 5) 機器 ・親機 ・子機 ・その他 () 6) 親機 ①形状 ・壁掛型 ・卓上形 ・複合盤組込 ・その他 () ②送受話器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他 () 7) 子機 ①形状 ・壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他 () ②送受話器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他 ()
(4)トイレ等呼出装置	1) 用途 ・トイレ呼出 ・受付呼出 ・非常通報 ・その他 ()
(5)機器	2) 機器 ・親機 ・呼出スイッチ ・警報装置 ・その他 () 3) 親機 ・壁掛型 ・卓上型 ・複合盤組込 ・その他 () 4) 呼出スイッチ ・押ボタン式 ・引紐式 ・その他 () 5) 警報装置 ・光 ・音声 ・ブザー ・ベル ・その他 ()
18. テレビ共同受信設備	・UHF ・BS ・CS ・FM ・CATV ・その他 ()
(1)受信放送	・増幅器 ・混合器 ・分波器 ・分岐器 ・分配器 ・機器収容箱
(2)機器	・アンテナ ・その他 ()
(3)アンテナ	1) 放送 ・UHF ・BS ・CS ・FM ・その他 () 2) マスト ・地上波用 (・壁面取付 ・自立 ・既設利用) ・衛星用 (・壁面取付 ・自立 ・既設利用) ・その他 () 3) 自立用基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
19. 監視カメラ設備	・仕様詳細は別図による。
20. 駐車場管制設備	・仕様詳細は別図による。
21. 防犯・入退室管理設備	・仕様詳細は別図による。
22. 自動火災報知設備	・受信機 ・副受信機 (表示装置) ・中継器 ・発信機 ・感知器 ・光警報装置 ・その他 ()
(1)機器	1) 型式 ・P型1級 ・P型2級 ・R型
(2)受信機	2) 回線数 ・() 回線 ・() アドレス 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 盤形式 ・複合盤組込 ・自立型 ・壁掛型 ・その他 ()
(3)副受信機 (表示装置)	1) 盤形式 ・自立型 ・壁掛型 ・その他 () 2) 回線数 ・() 回線 ・() アドレス 3) 表示装置の仕様詳細は別図による。
(4)中継器	試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能
(5)発信機	1) 型式 ・アドレス付 ・P型1級 ・P型2級 2) 消火栓ポンプ起動 特記なき場合は、発信機運動方式とし、発信機表 面に「消火栓起動」等の文字を併記する。
(6)感知器	3) 設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込 ・消火栓ボックス (別途) に組込 ・その他 () 1) 型式 ・アドレス付 ・一般型 2) 種類 ・熱感知器 ・空気管式 ・煙感知器 ・炎感知器 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 機器仕様 ・一般 ・防水 ・防爆 ・防食 ・その他 ()
(7)光警報装置	1) 機器 ・警報装置 ・制御装置 ・同期装置 2) 警報装置 ・天井付 ・壁付 3) 同期装置 ・自走同期式 ・外部同期式

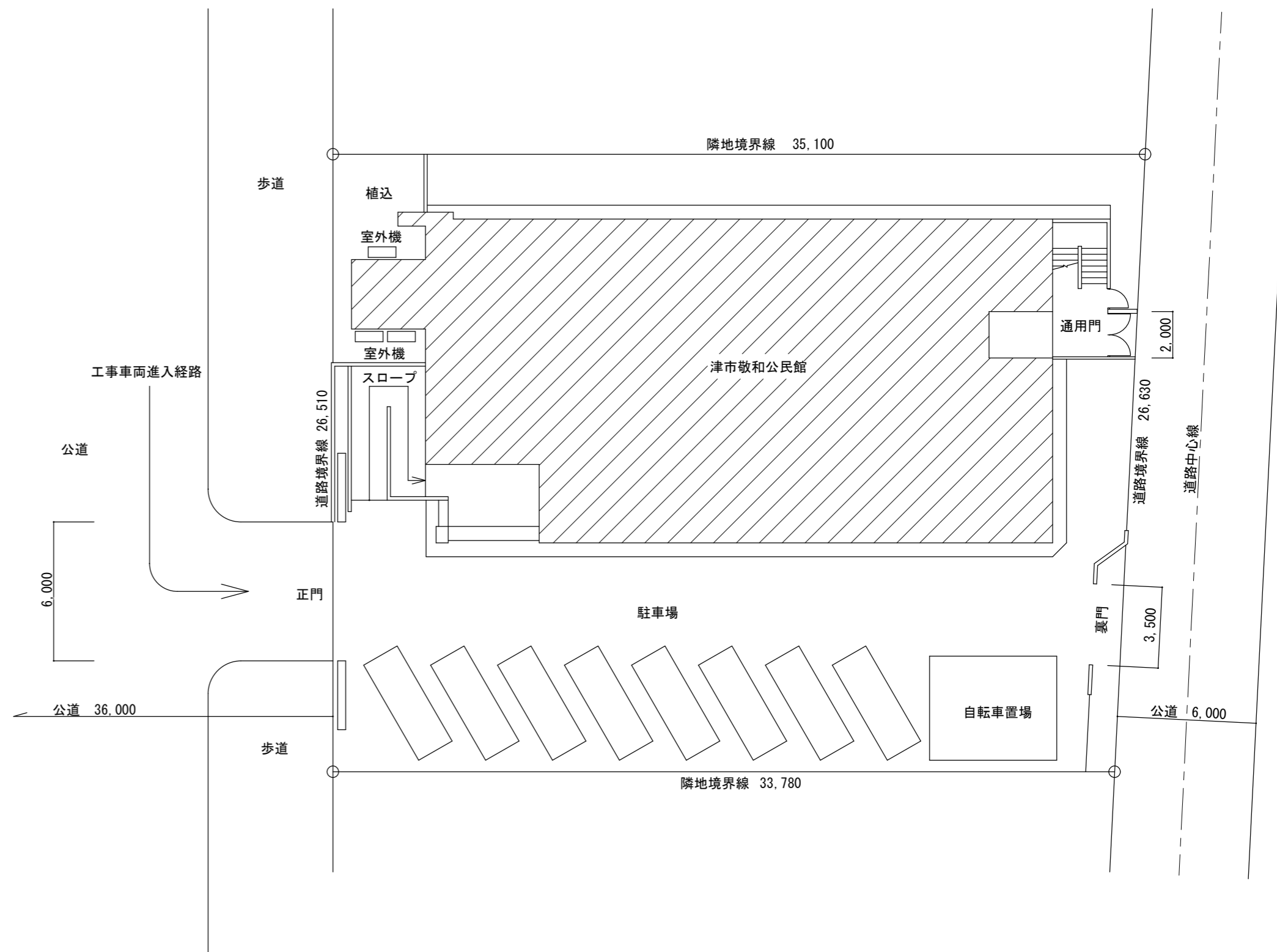
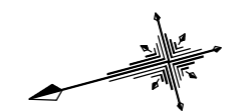
23. 自動閉鎖設備	・運動制御器 ・感知器 ・自動閉鎖装置 ・自動開錠装置 ・その他 ()
(1)機器	1) 制御対象 ・防火戸 ・防火シャッター ・防排煙ダンパー ・非常口等の扉 ・その他 ()
(2)運動制御器	2) 回線数 () 回線 (遠方復帰機構 () 回路) 3) 設置 ●単独 (●壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤 ・アドレス付 ・一般型
(3)感知器	1) 型式 2) 種類 煙感知器 (・2種 ・3種) 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 機器仕様 ・一般 ・防水 ・防爆 ・防食 ・その他 ()
(4)自動閉鎖装置	1) 方式 ・電磁式 ・ラッチ式 ・その他 () 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
(5)自動開錠装置	1) 方式 ・電磁錠 ・その他 () 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
24. 非常警報設備	●非常放送装置 ・非常ベル
(1)設備	1) 消防法基準適合マーク品とする。
(2)非常放送装置	2) 機器 ●増幅器 ●スピーカ ・非常用リモコンマイク ・その他 ()
(3)増幅器	3) 増幅器 ①出力 () W ②出カインピーダンス ・Lo形 ●Hi形 ③形式 ・ロングラック型 ・スタンダードラック型 ●壁掛型 ・その他 () ④機能 ●マイク放送 ●運動放送 (●自火報設備 ●緊急地震速報設備) ・その他 () ⑤用途 ●拡声設備兼用 ・非常放送専用
(4)スピーカ	4) スピーカ ①結線 ●1W ●3W ・() W ②インピーダンス ・Lo形 ●Hi形 ③設置場所 ●屋内 ・屋外 ・その他 () ④用途 ●拡声設備兼用 ・非常放送専用
(3)非常ベル (自動サイレンを含む)	5) 非常用リモコンマイク 型式 ・壁掛形 ・ラック収納形 ・卓上形 ・その他 () 1) 機器 ・起動装置 ・非常ベル ・表示灯 ・その他 () 2) 設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込 ・消火栓ボックス (別途) に組込 ・その他 ()
25. ガス漏れ火災警報設備	・受信機 ・副受信機 ・中継器 ・検知器 ・警報器 ・その他 ()
(1)機器	1) 回線数 () 回線 2) 種類 ・都市ガス用 ・液化石油ガス用 3) 設置 ・単独 (・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤 ・その他 ()
(2)受信機	設置 ・単独 (・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤 ・その他 ()
(3)副受信機	1) 動作 ・単独 (単独動作) ・連動 (受信機に伝送) 2) 定格電圧 ・AC100V ・DC24V (受信機等から供給) ・その他 () 3) ガス検知出力信号 ・有電圧出力方式 ・無電圧接点方式
【中央監視制御設備】	・仕様詳細は別紙による。
【医療関係設備】	・仕様詳細は別紙による。
【構内配電線路】	
26. 構内配電線路	・地中線式 (・直埋 ・管路) ・架空線式 (・直接 ・ちよう架線添架) ・建築物等添架式 (・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他 ()) ・その他 ()
(1)配線方式	1) 施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・その他 () 2) 電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・バンザマスト ・その他 ()
(2)建柱	3) 支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線 (保護ガード ・有 ・無) 4) 装柱材料 ・有 (電力仕様) ・無 5) 銘板 ・有 ・無
(3)装柱機器 (高圧用)	1) 機器 ・開閉器 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子 ・その他 () 2) 耐環境性 ・一般用 ・耐塩用
(4)装柱機器 (低圧用)	3) 開閉器 仕様は 5. 受変電設備 (6) 負荷開閉器 による。 1) 機器 ・開閉器 ・開閉器箱 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子 ・その他 () 2) 耐環境性 ・一般用 ・耐塩用
(5)ハンドホールマンホール	1) 形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
(6)鑄鉄蓋	3) ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・() 箇所 4) 重車両の通行 ・有 (破壊荷重 200kN以上、衝撃係数 0.1(走行速度制限箇所)) ・無
(7)地中ケーブル保護材料	1) 鑄鉄蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水バッキン付とする。 1) 種類 ・FEP ・GLT (PEライニング管) ・VE ・HIVE ・SGP ・厚鋼電線管 ・その他 () 2) 標示杭埋設 ・コンクリート製 ・鉄製 (アスファルト部分) 3) 埋設標識シート ・2倍長 ・その他 () 4) 埋設標識シートの表記は電力用であることがわかるものとする。

【構内通信線路】	
27. 構内通信線路	・電話 ・拡声 ・時刻表示 ・火災報知 ・非常警報 ・インターホン ・テレビ共同受信 ・防犯 ・制御 ・その他 () ・地中線式 (・直埋 ・管路) ・架空線式 (・直接 ・ちよう架線添架) ・建築物等添架式 (・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他 ()) ・その他 ()
(1)用途	1) 施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・構内配電線柱に添架 ・その他 ()
(2)配線方式	2) 電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・バンザマスト ・その他 ()
(3)建柱	3) 支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線 (保護ガード ・有 ・無) 4) 装柱材料 ・有 ・無 5) 銘板 ・有 ・無
(4)ハンドホールマンホール	1) 形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
(5)鑄鉄蓋	3) ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・() 箇所 4) 重車両の通行 ・有 (破壊荷重 200kN以上、衝撃係数 0.1(走行速度制限箇所)) ・無
(6)地中ケーブル保護材料	1) 鑄鉄蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水バッキン付とする。 1) 種類 ・FEP ・GLT (PEライニング管) ・VE ・HIVE ・SGP ・厚鋼電線管 ・その他 () 2) 標示杭埋設 ・コンクリート製 ・鉄製 (アスファルト部分) 3) 埋設標識シート ・2倍長 ・その他 () 4) 埋設標識シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。
【その他】	
28. 消火器	1) 設置 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事) ・別途工事 2) 消火器 種類 ()、数量 () 本 3) 消火器収納箱 材質 ()、数量 () 面
4. 使用資機材の適用規格	(1)以下に定めるとおりとする。なお、以下に定めのない資機材については、日本産業規格 (JIS規格) 適合品の使用を原則とする。 ● 電気用品安全法に定める特定電気用品又は特定電気用品以外の電気用品 ・電気用品安全法適合品 ● 耐熱、耐火電線、耐熱、耐火ケーブル ・消防庁の登録認定機関として消防庁告示に規定された耐火・耐熱電線及び耐火バスタクトの適合性検査を行い合格したもの ・第三者認証機関として(一社)日本電線工業会規格 (JCS規格) への適合性検査を行い合格したもの ● 非常用照明器具 ・建築基準法に定める国土交通大臣認定品 ・(一社)日本照明工業会の自主評定を受け、JIL5501適合マークが貼付されたもの ● 誘導灯 ・登録認定機関 ((一社)日本電気協会 (JEA誘導灯認定委員会)) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● 制御盤 ・(一社)日本配電制御システム工業会規格 (JSIA規格) 適合品 ● 消防用加圧送水装置、不活性ガス消火設備及びハロゲン化物消火設備の制御盤、火災通報装置、総合操作盤等の認定対象品 ・登録認定機関 ((一財)日本消防設備安全センター (消防用設備等認定委員会)) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● 不活性ガス消火設備等の操作箱、新ガス系消火設備制御盤、緊急通報装置、非常通報装置等の性能評定対象品 ・(一財)日本消防設備安全センターの性能評定を受け、評定証票が貼付されたもの ● 金属閉鎖形スイッチギア ・(一社)日本電機工業会規格 (JEM規格) 適合品 ● 高圧機器 (遮断器、限流ヒューズ、負荷開閉器、避雷器、断路器、特定機器以外の変圧器、計器用変成器、保護継電器) ・(一社)電気学会電気規格調査会規格 (JEC規格) 適合品 ● 直流電源装置 (防災電源用) ・登録認定機関 ((一社)日本電気協会 (JEA蓄電池設備認定委員会)) の認定をうけ、認定証票が貼付されたもの ● 交流無停電電源装置 ・(一社)電気学会電気規格調査会規格 (JEC規格) 適合品 ● 自家発電装置 (防災電源用) ・登録認定機関 ((一社)日本内燃力発電設備協会) の認定を受け、認定証票 (長時開形) が貼付されたもの ● 自家発電装置 (防災電源用でないもの) ・(一社)日本電機工業会規格 (JEM規格) 適合品 ● 太陽電池モジュールの支持物 ・電気設備の技術基準の解釈第46条第2項又は第3項の規定に適合するもの ● 電話用設備 (電話交換機、電話機等) ・登録認定機関 ((一財)電気通信端末機器審査協会 (JATE) 等) の技術基準適合認定を受け、適合表示が貼付されたもの ● 非常用放送設備 ・登録認定機関 (日本消防検定協会) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● テレビ共同受信機器 ・優良住宅部品 (BL部品) の認定を受けたもので、BLマーク証紙が貼付されたもの ・(一社)電子情報技術産業協会スーパーハイビジョン受信マーク登録品の認定を受けたもので、SHマークが貼付されたもの ● 自動火災報知設備 ・登録認定機関 (日本消防検定協会) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの (2)特殊仕様の資機材を使用する場合は、仕様・性能等を証明する書類を監督員に提出し、監督員の承諾を得るものとする。

5. 施工方法及び検査に関する事項	※ 本工事は令和5年11月27日～令和5年12月8日を原則作業予定日とする。 なお、予定日以外の作業については、施設管理者及び監督員と協議のうえ調整する。
-------------------	--



附近見取図



配置図 S=1/200

凡例  : 改修建物

memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1/200

drawing title
附近見取図、配置図

project title
津市敬和公民館拡声設備改修工事

Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.

E-04

原図: A2

業務放送兼用非常放送アンプ

電源	AC100V 50/60Hz
音声入力	マイク×2、ライン×3 (マイク/ライン切換含む)、チャイム、外部マイク、BGM、ページング、緊急
リモコン接続	非常リモコン、マルチリモコンマイク、リモコンマイク
局数・回線数	10局・10回線
定格出力	60W
緊急地震放送	地震放送表示、地震放送停止スイッチ
音声警報音源	4か国語「日本語+英語+中国語+韓国語」に対応 各言語64個内蔵 (地下5階~20階、E.L.V.、階段 他)
ファンクションスイッチ	5個：スピーカー回線まとめ/音源再生/外部制御出力
外部制御入力	5回路
チャイム音源	3種類：ウエストミンスターの鐘、他2種類
コールサイン	7種類：上り4音2種類、下り4音2種類、他3種類
内蔵メッセージ	緊急放送、業務放送用10種類 放送設備/非常放送点検、地震放送 閉館放送、停電放送、防犯放送、他
SD/SDHCメモリーカード音源2種類 (WAV)	
DC24V 密閉型ニッケル水素蓄電池	
その他	停電緊急・業務放送用蓄電池を接続可能 CUD認証製品

天井埋込型スピーカー SC4Hi-1V0-M

定格入力	3W (3.3kΩ)、1W (10kΩ)
出力音圧レベル	95dB (1W/1m)
周波数特性	85Hz ~ 15kHz (-20dB)
使用スピーカー	1.6cmコンスピアカー
仕上げ	本体：ABS樹脂
パネル	ネット：アルミバンテング、枠：アルミ

天井埋込型スピーカー A T T付 SC4Hi-1V3-M

定格入力	3W (3.3kΩ)、1W (10kΩ)
出力音圧レベル	95dB (1W/1m)
周波数特性	85Hz ~ 15kHz (-20dB)
使用スピーカー	1.6cmコンスピアカー
仕上げ	本体：ABS樹脂
パネル	ネット：アルミバンテング、枠：アルミ
音量調節	5段階

木製壁掛型スピーカー SW1Hi-1V0

定格入力	3W (3.3kΩ)、1W (10kΩ)
出力音圧レベル	92dB (1W/1m)
周波数特性	120Hz ~ 12kHz
使用スピーカー	1.6cmコンスピアカー
仕上げ	木箱：塩ビシート貼り、ネット：ジャージ

木製壁掛型スピーカー A T T付 SW1Hi-1V3

定格入力	3W (3.3kΩ)
出力音圧レベル	92dB (1W/1m)
周波数特性	120Hz ~ 12kHz
使用スピーカー	1.6cmコンスピアカー
仕上げ	木箱：塩ビシート貼り、ネット：ジャージ
音量調整	4段階

アッテネータ V-1S

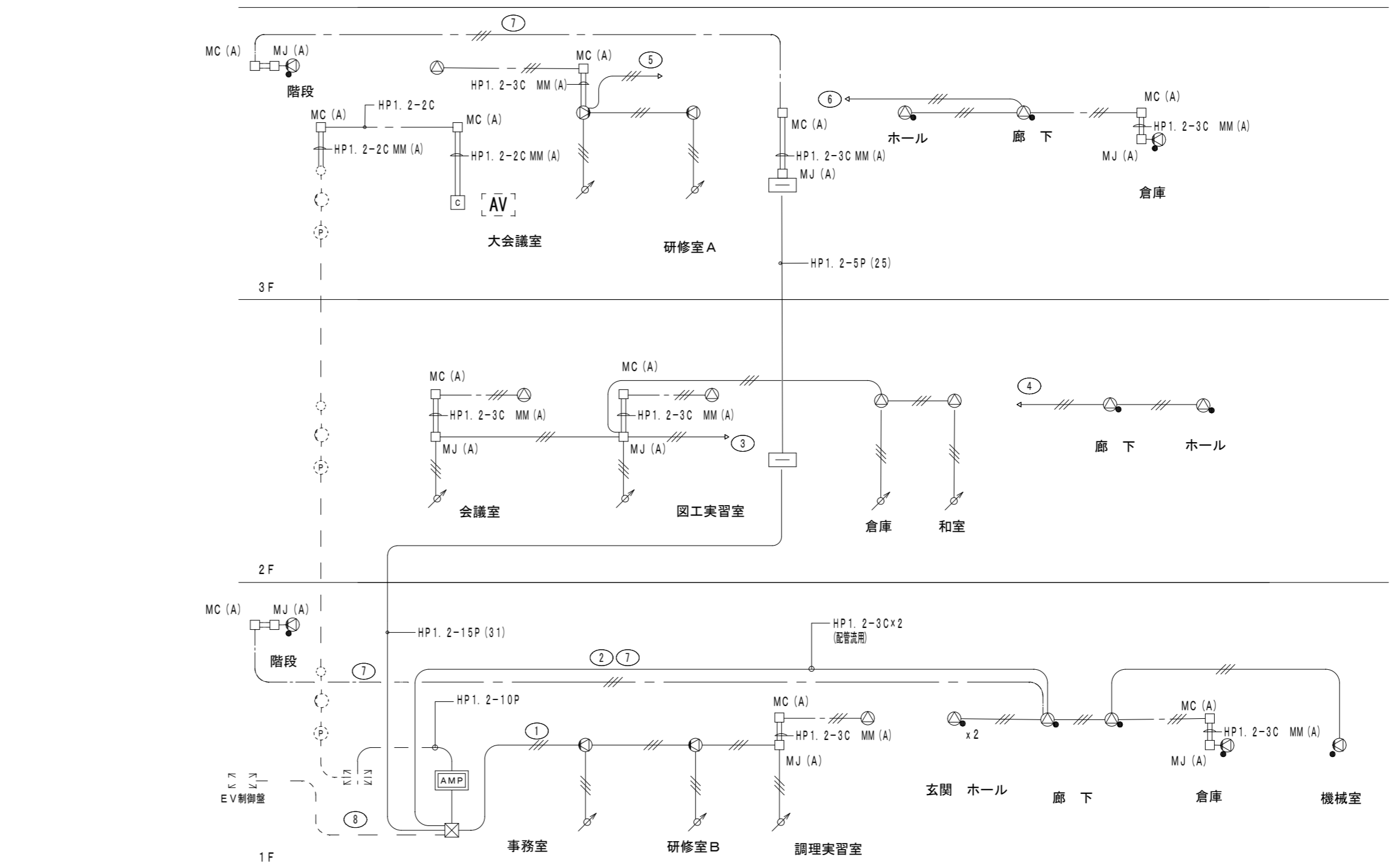
入力容量	0.5W~6W
入力インピーダンス	20kΩ~1.67kΩ
音量調整	5段階
パネル	新金属
適合ボックス	JIS1個口用スイッチボックス

電源カトリレー

制御電源	DC24V 10mA (無極性) 非常用放送設備から供給
コンセント用電源	AC100V 50/60Hz
電力/電流容量	最大800W/最大15A
制御方式	非常時DC24V断によりAC100V断制御
適合ボックス	露出：JIS1個用スイッチボックス 埋込：JIS1個用中形直角流形カバー付
その他	3Pプラグ対応

アンプ容量計算書

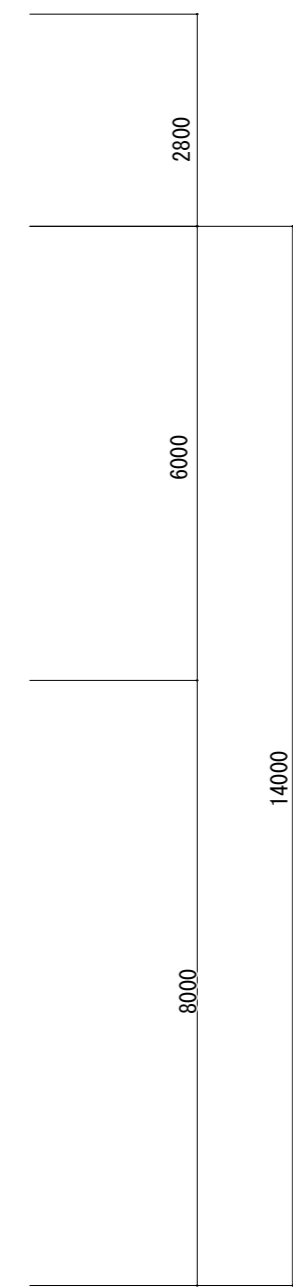
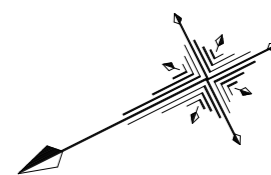
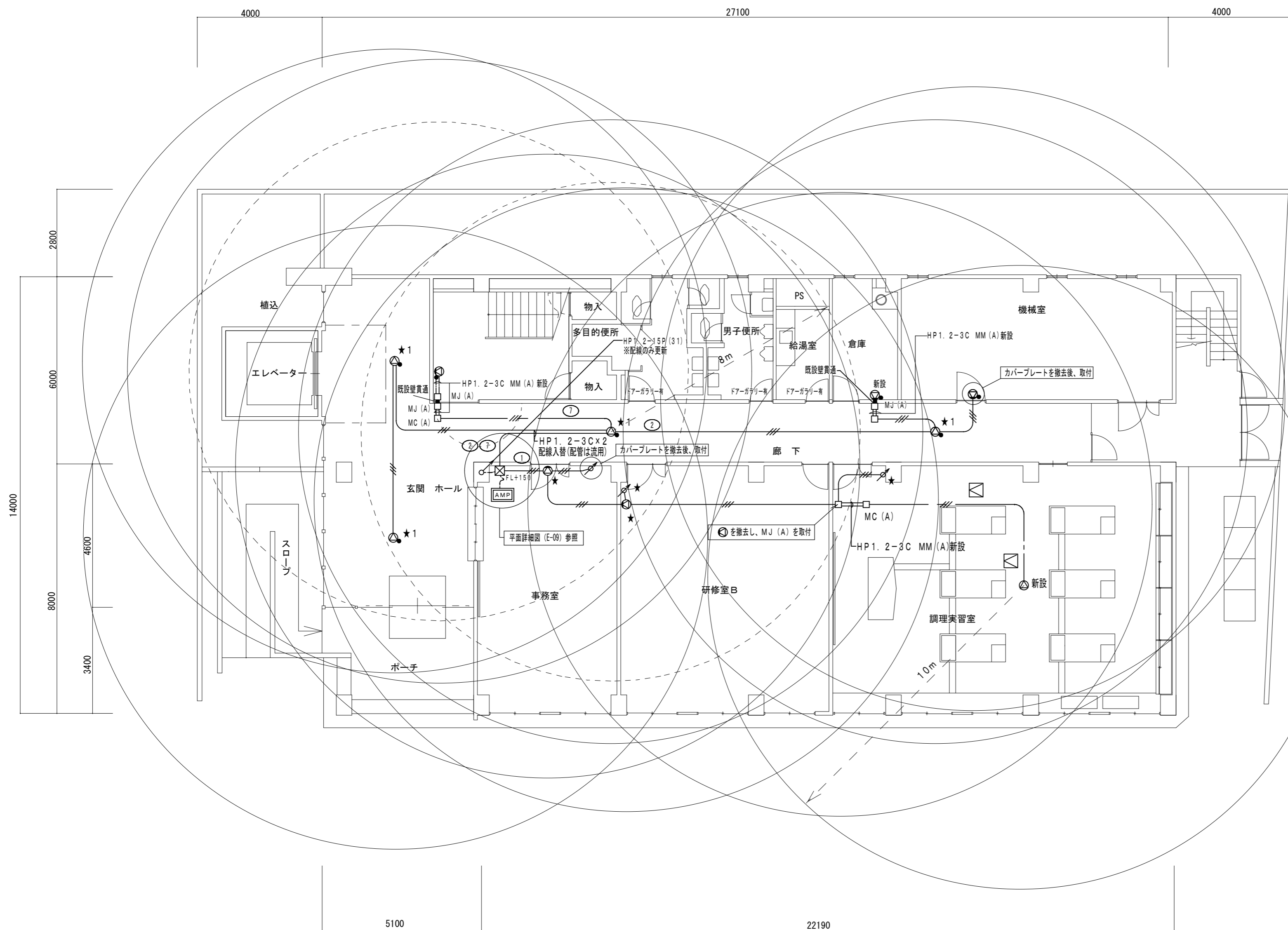
回路番号	名称	①	②	③	④	計
①	1階 居室	1		2		
②	1階 廊下ほか		4		2	
③	2階 居室	4				
④	2階 廊下ほか		2			
⑤	3階 居室	1		2		
⑥	3階 廊下ほか		2		1	
⑦	階段					2
⑧	E.L.V.	1				
個数		7	8	4	5	24個
1W換算容量 (W)		7	8	4	5	24W
アンプの容量		24W < 60W				



特記事項

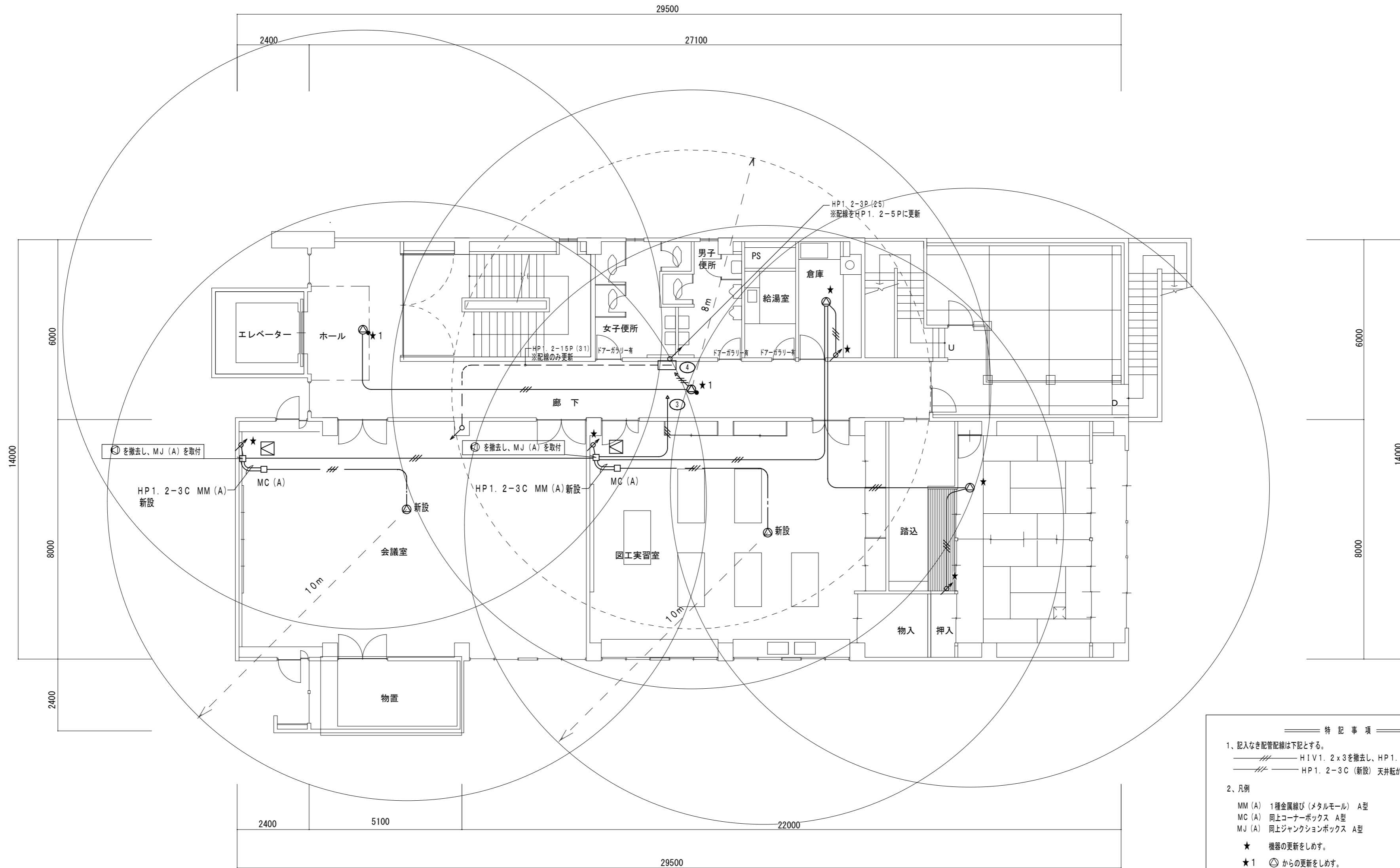
- 記入なき配管配線は下記とする。
 〃〃〃 HP1.2-3C 既設配管
 - - - HP1.2-3C (新設) 天井転がし
- 凡例
 MM (A) 1種金属継ぎ (メタルモール) A型
 MC (A) 同上コーナーボックス A型
 MJ (A) 同上ジャンクションボックス A型

系統図



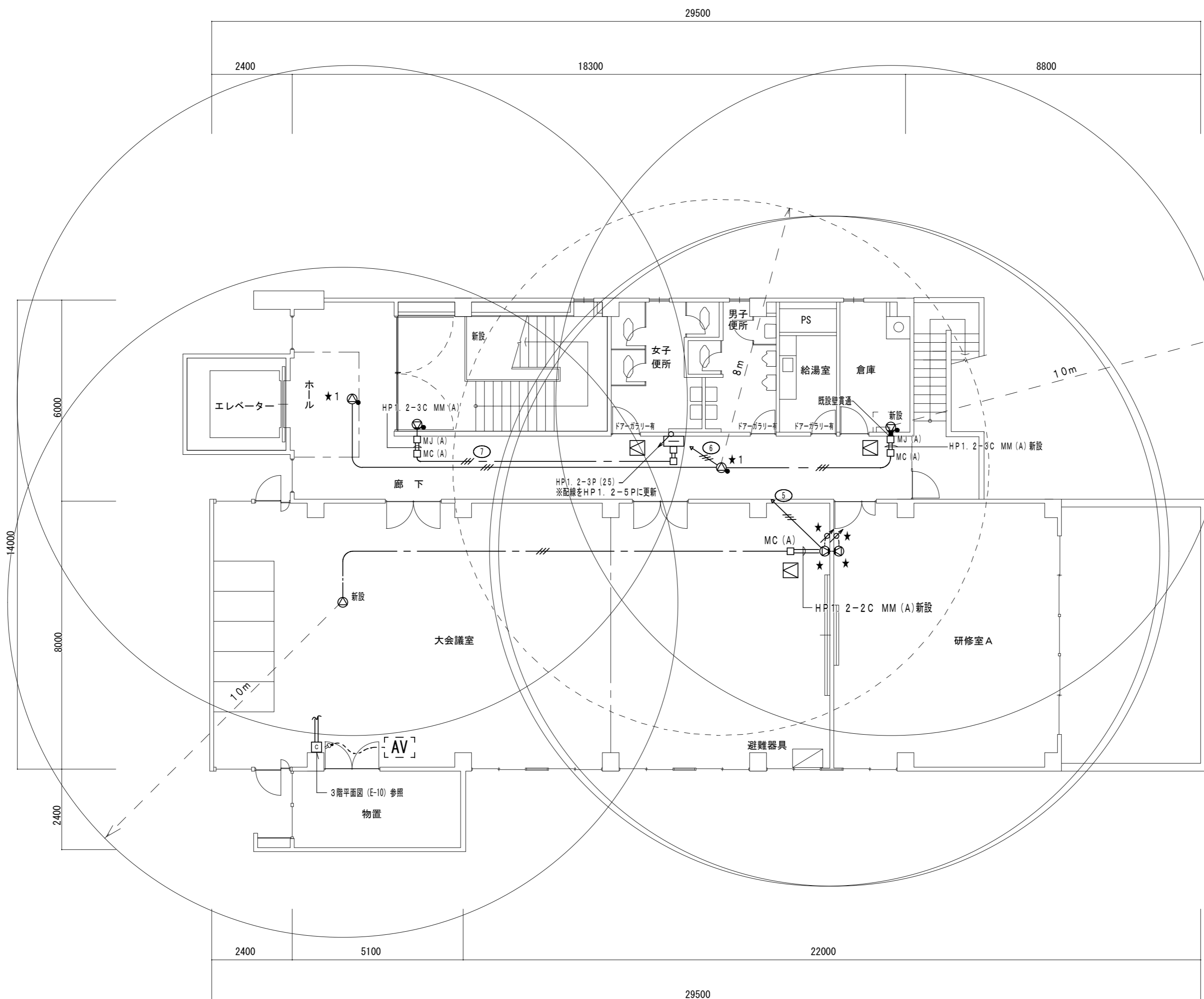
1階平面図 S=1/100

- 特記事項
- 記入なき配管配線は下記とする。
 〰〰〰 H1V1. 2x3を撤去し、HP1. 2-3Cに入線替 (配管は流用)
 〰〰〰 HP1. 2-3C (新設) 天井転がし
 - 凡例
 MM (A) 1種金属線び (メタルモール) A型
 MC (A) 同上コーナーボックス A型
 MJ (A) 同上ジャンクションボックス A型
 ★ 機器の更新をしめす。
 ★1 からの更新をしめす。
 [AMP] 業務放送兼用非常放送アンプ (機器姿図参照)
 ⊙ 天井埋込スピーカー ATT付 (機器姿図参照)
 ⊙ 天井埋込スピーカー ATTなし (機器姿図参照)
 ⊙ 壁掛けスピーカー ATT付 (機器姿図参照)
 ⊙ 壁掛けスピーカー ATTなし (機器姿図参照)
 ⊙ アッテネータ (機器姿図参照)
 ⊙ 電源カッターレ (機器姿図参照)
 - 機器及び配線はすべて更新とする。
 - 7は天井点検口450角 (新設)
 - 天井ボードについては、石棉が含有している可能性があるため
 みなしとして適切に処理及び処分すること。



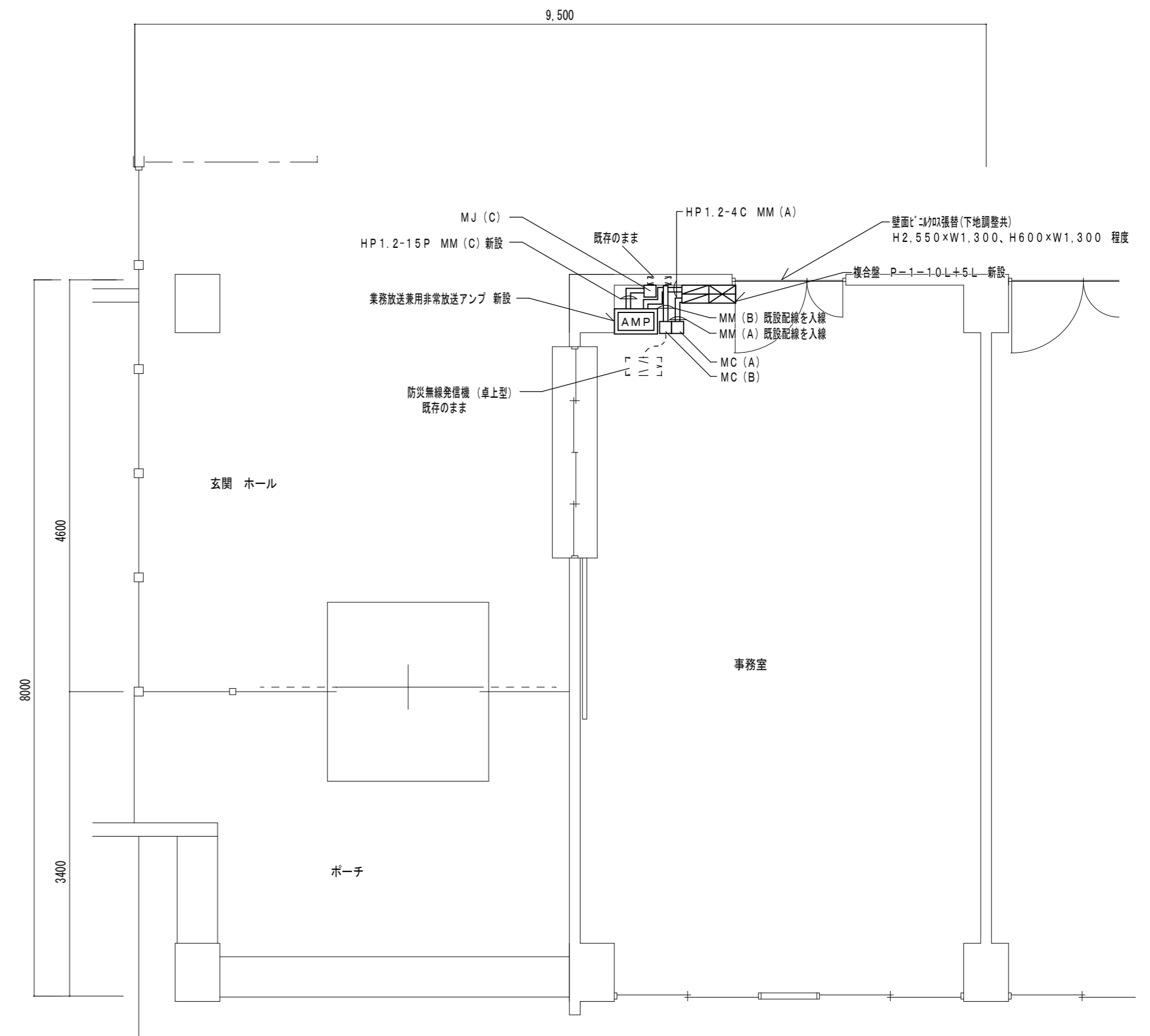
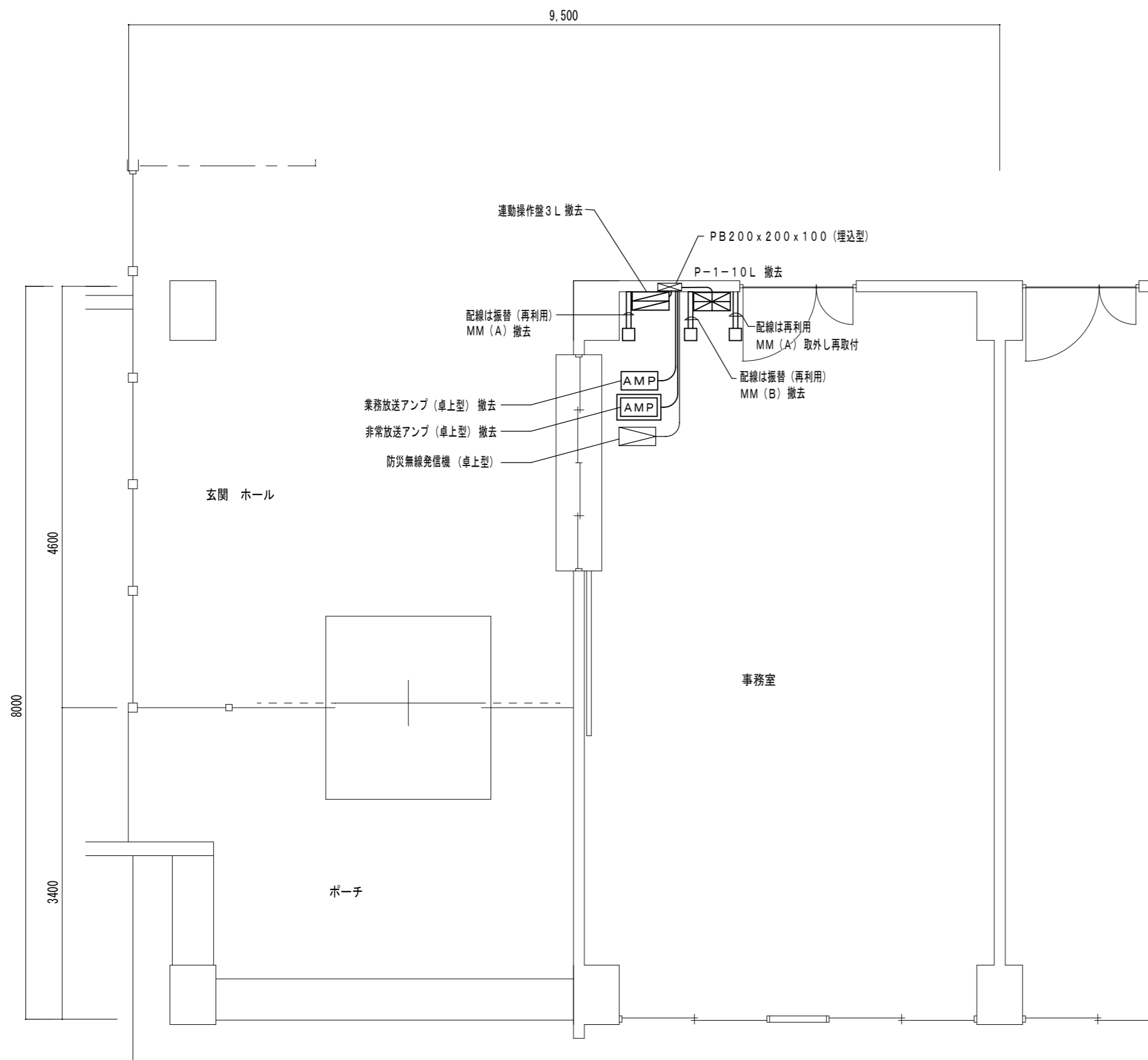
2階平面図 S=1/100

- 特記事項
- 配入なき配管配線は下記とする。
 —— H1V1. 2×3を撤去し、HP1. 2-3Cに入替 (配管は流用)
 —— HP1. 2-3C (新設) 天井転かし
 - 凡例
 MM (A) 1種金属線び (メタルモール) A型
 MC (A) 同上コーナーボックス A型
 MJ (A) 同上ジャンクションボックス A型
 ★ 機器の更新をしない。
 ★1 からの更新をしない。
 [AMP] 業務放送兼用非常放送アンプ (機器委図参照)
 天井埋込スピーカー ATT付 (機器委図参照)
 天井埋込スピーカー ATTなし (機器委図参照)
 壁掛けスピーカー ATT付 (機器委図参照)
 壁掛けスピーカー ATTなし (機器委図参照)
 アッテネータ (機器委図参照)
 電源カットリレー (機器委図参照)
 - 機器及び配線はすべて更新とする。
 - 7mm天井点検口450角 (新設)
 - 天井ボードについては、石綿が含まれている可能性があるため
 みなしとして適切に処理及び処分すること。



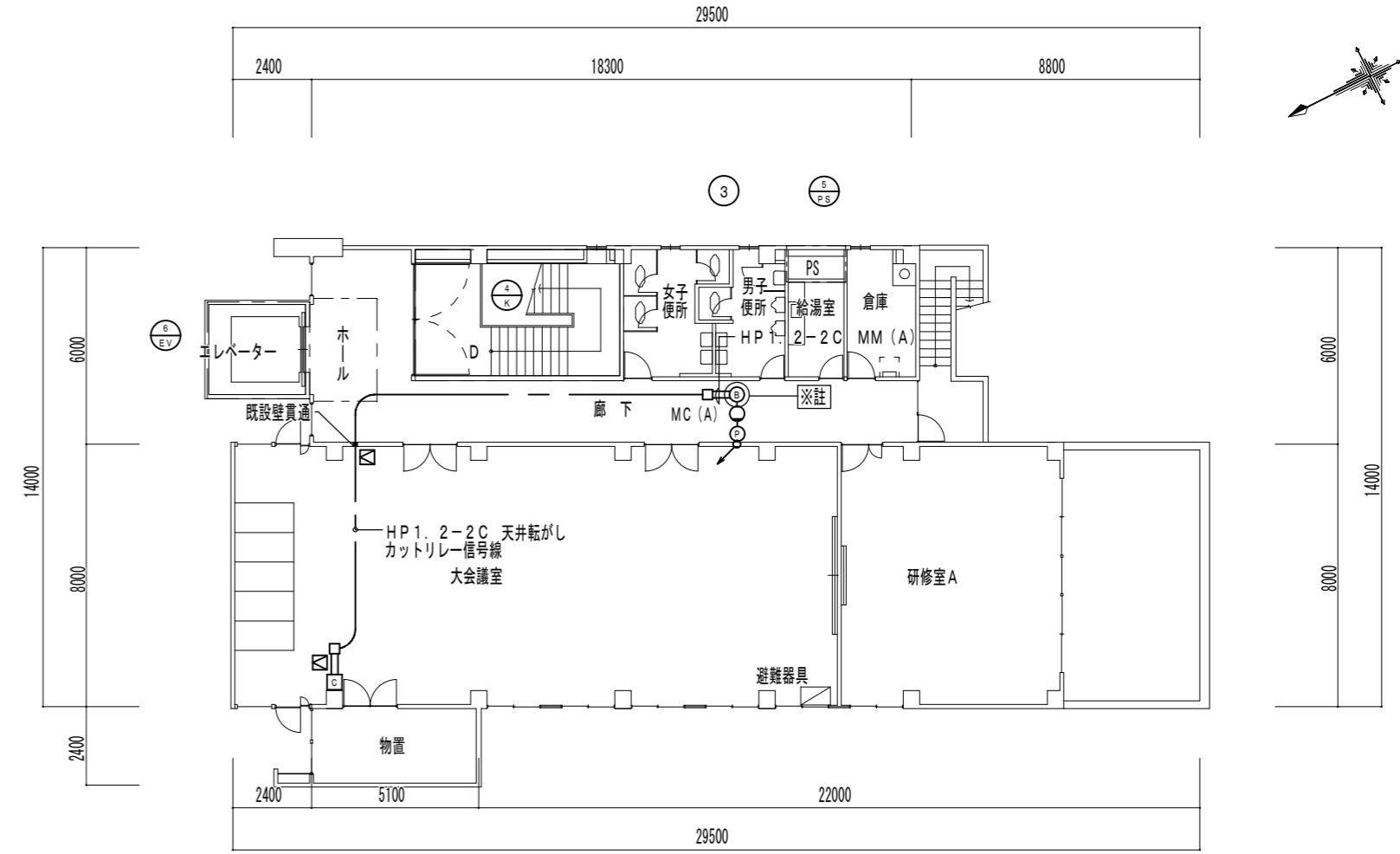
3階平面図 S=1/100

- 特記事項
- 記入なき配管配線は下記とする。
 —— H1V1. 2×3を撤去し、HP1. 2-3Cに入替 (配管は流用)
 —— HP1. 2-3C (新設) 天井転がし
 - 凡例
 MM (A) 1種金属線び (メタルモール) A型
 MC (A) 同上コーナーボックス A型
 MJ (A) 同上ジャンクションボックス A型
 ★ 機器の更新をしない。
 ★1 からの更新をしない。
 [AMP] 業務放送兼用非常放送アンプ (機器参照)
 天井埋込スピーカー ATT付 (機器参照)
 天井埋込スピーカー ATTなし (機器参照)
 壁掛けスピーカー ATT付 (機器参照)
 壁掛けスピーカー ATTなし (機器参照)
 アッテネータ (機器参照)
 電源カトリレー (機器参照)
 - 機器及び配線はすべて更新とする。
 - 7mm天井点検口450角 (新設)
 - 天井ボードについては、石綿が含まれている可能性があるため
 みなしとして適切に処理及び処分すること。



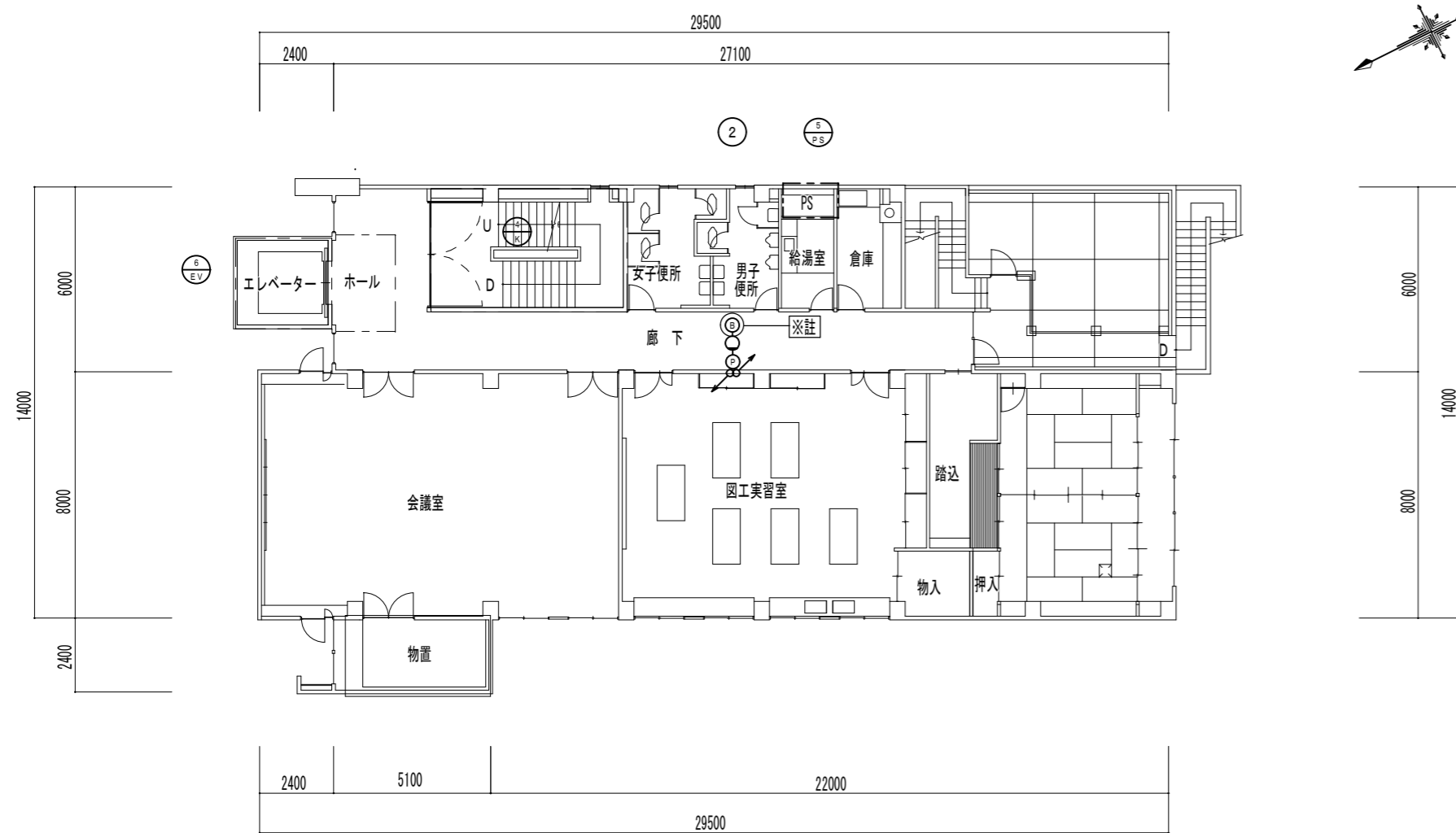


1階自動火災報知設備 平面図 S=1/200

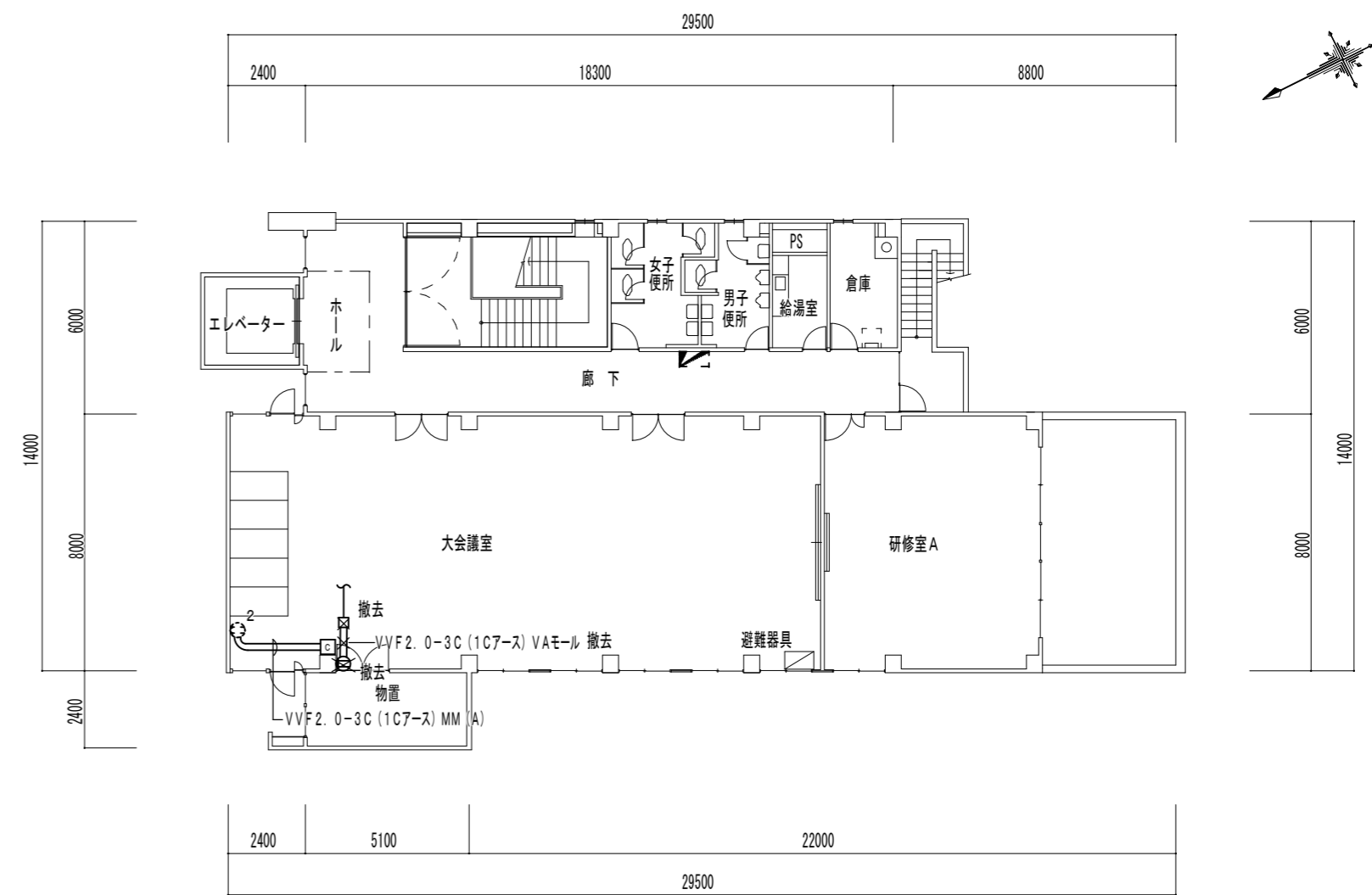


3階自動火災報知設備平面図 S=1/200

※註	ベル撤去後、カバープレートを取り付け ベル配線をカットリレー配線に切替て再使用とする。
◻	7&天井点検口450角 (新設)



2階自動火災報知設備平面図 S=1/200



3階コンセント設備平面図 S=1/200

memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1/200

drawing title
自動火災報知・コンセント設備改修 平面図

project title
津市敬和公民館拡声設備改修工事

Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.
E-10
原図: A2